

高額現金被害の空き巣事件が発生！（4/14）

4月12日、札幌市厚別区居住の70歳代女性宅から、現金約1,840万円が盗まれる空き巣事件が発生しました。

事件発生前には、防犯協会や災害支援公社職員を名乗る者らから「災害支援公社に登録されています。」「あなた名義で不正送金された。刑事事件になる。」などと電話があった後、金融機関窓口やＡＴＭを利用して、毎日100万円ずつ出金し、自宅の菓子箱内に保管するよう指示を受けていたことが判明しています。

被害に遭わないため、

- 電話でお金のお話をされた場合には、まず、最寄りの警察や#9110に相談すること
 - 住宅の玄関や窓などは忘れずに施錠すること
 - 防犯効果が高い、防犯機器の設置を検討すること
（アラーム、センサーライト、防犯カメラ等）
- について配慮するようお願いします！

【金融機関の皆様へ】

- 被害者の方が、現金の引き出しのため来店することが考えられますので、高額引き出し・振り込み時における積極的な声掛けと警察への通報のご協力をお願いします。

【すべての事業者等の皆様へ】

- この情報は、できる限り多くの道民の皆様に伝達できますよう、傘下企業、ご家族、ご友人、お知り合い、ご近所の方に対して転送するなど、広く情報提供をお願いします。

北海道警察本部 生活安全企画課特殊詐欺抑止対策係

011-251-0110（内線3037）

ご自宅の「防犯対策」は、大丈夫ですか？



同居・別居のご家族と一緒に
自宅の防犯対策をチェック  して、
防犯意識を高めましょう。

チェック1

固定電話は、常に留守番電話に設定している。

特殊詐欺の犯人は声を録音されることを嫌います。留守番電話設定や、録音機能のついた防犯機能付き電話が被害防止に有効です。



チェック2

固定電話は、非通知番号を着信拒否に設定している。

特殊詐欺の犯人には非通知でかけてくる者がいます。一部の電気通信事業者では、非通知番号を着信拒否にするサービスの無償化が始まっています。この機会にご家族で電気通信事業者にお問い合わせください。



チェック3

宅配の荷物は直接受け取らない方法を実践している。

宅配事業者の訪問を偽装した侵入手口には、荷物の受け取りに宅配ボックスを活用するなど、自宅に侵入されない方法をとることが大切です。



チェック4

防犯性能の高い窓ガラス、二重鍵や、防犯カメラを設置している。

住居などの建物への侵入に対しては、防犯性能の高い建物部品（CP部品）や防犯カメラの設置が効果的です。詳しくはこちら▶



チェック5

大金の保管は、自宅ではなく金融機関を活用している。

自宅に保管する大金を狙った特殊詐欺や強盗による被害を防ぐため、自宅保管の危険性をご理解いただき、金融機関を活用してください。



不審な電話を受けたり、不安を感じたら
警察相談専用電話「#9110」番にご連絡ください。



政府広報

警察庁・総務省・国土交通省